別 記
様式第1号（第8条、第9条、第12条関係）

事業者行動（計画・変更計画・報告）書

2022年 6月 23日

（宛先）
滋賀県知事

提出者
住所（法人にあっては、主たる事務所の所在地）
東京都千代田区丸の内1-8-3丸の内ﾄﾗｽﾄﾀﾜｰ22F

氏名（法人にあっては、名称および代表者の氏名）
カルビー株式会社代表取締役社長伊藤 秀二
（代理人）西日本生産部湖南工場工場長 内薗正義

滋賀県CO_2ネットゼロ社会づくりの推進に関する条例［第25条第3項・~~第25条第4項~~ ~~第27条第1項・第27条第2項において準用する同条例~~ ~~第26条第1項~~ ~~第27条第2項において準用する同条例第26条第1項~~ ~~第25条第4項~~］の規定に基づき、［事業者行動計画を策定 ~~（変更）~~ ~~事業者行動報告書を作成~~］したので、提出します。

事業者の氏名（法人にあっては、名称および代表者の氏名）	カルビー株式会社 代表取締役社長 伊藤 秀二
事業者の住所（法人にあっては、主たる事務所の所在地）	東京都千代田区丸の内1-8-3 丸の内トラストタワー22F

1 事業者の概要

事業所の名称	カルビー株式会社生産本部西日本生産部湖南工場					
事業所の所在地	滋賀県湖南市柑子袋558番地					
主たる事業	日本標準産業分類細分類番号	0	9	7	9	※ 産業分類・細分類名称を記載 その他のパン・菓子製造業
事業の概要	その他のパン・菓子製造業					
従業員の数	307 人	操業時間	22 時間／日			
該当する事業者の要件	☑ 原油換算エネルギー使用量が、年間1,500ｷﾛﾘｯﾄﾙ以上の事業所を県内に有する事業者					
	☐ 従業員数が21人以上であって、エネルギー起源二酸化炭素以外の温室効果ガス排出量が、二酸化炭素換算で年間3,000トン以上の事業所を県内に有する事業者					
	☐ 任意提出事業者					
主要な設備	ボイラ	11 台	熱源設備	12 台	照明設備	台
	コンプレッサ	12 台	空気調和設備	5 台	その他	

2 計画期間（および報告対象年度）

計画期間	開始年度	2022 年度	報告対象年度	年度
	終了年度	2023 年度		

3 計画の（内容・実施状況）

計画の（内容・実施状況）	別添のとおり

注 用紙の大きさは、日本産業規格A列4番とします。

標準様式第1号・標準様式第2号

（第1面）

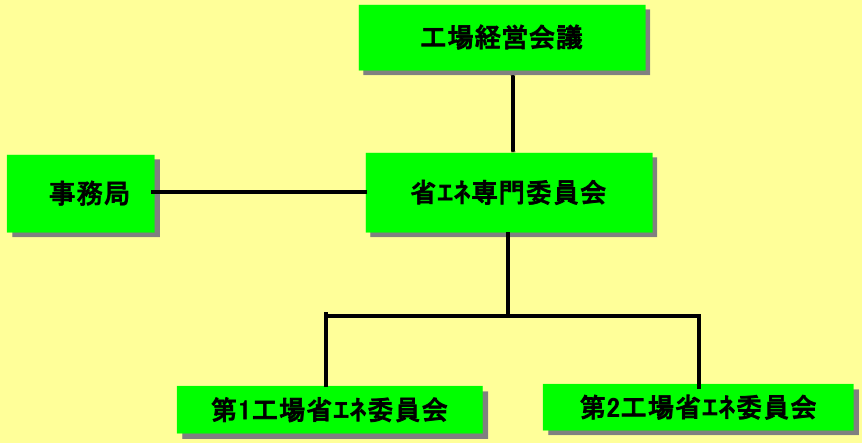
1　CO_2ネットゼロ社会づくりに係る取組に関する基本的な方針

カルビー株式会社生産本部西日本生産部湖南工場省エネ活動計画に連携する形での
低炭素社会づくりを目指します。

カルビー株式会社生産本部西日本生産部湖南工場活動のねらい
＝全従業員参加の活動によるｴﾈﾙｷﾞｰﾛｽ削減＝

(1)省エネ提案
全従業員から提案を募集し、活動の活性化を計る。
(2)現場巡回
定期的にパトロールを行いエネルギー使用の調査・改善を行う。
(3)ムラ・ムダを無くす
設備の設備の空転、製品ﾛｽや製品回収、照明付け放しなどのｴﾈﾙｷﾞｰﾛｽを削減する。
(4)夏季の節電要求に対する取り組み
個別改善(電力削減)の早期実施。

2　取組の推進体制



3　これまでに取り組んできたCO_2ネットゼロ社会づくりに係る取組

・井水汲み上げﾎﾟﾝﾌﾟINV駆動
・低圧ﾎﾞｲﾗ高効率ﾀｲﾌﾟへの更新
・冷凍機高効率化
・高圧ボイラドレン回収蒸気余剰分の他設備熱源利用
・空調の設定温度制限
・エアー漏れパトロールの実施
・未使用時の照明停止、通路照明器具間引き
・エレベーター使用制限
・高圧ボイラﾌﾞﾛｰ率の変更。

4　自らの温室効果ガス排出量の削減に向けた取組

(1) エネルギー起源CO_2排出量の削減に向けた取組の内容等

	取組項目	実施計画		実績報告
		取組の内容	実施スケジュール	取組の実施状況
1	設備導入	空調設備更新（GHP⇒EHP）	2020-7月から	
2	設備導入	照明のLED化	継続実施中	
3	運用改善	第2工場低圧ﾎﾞｲﾗ給水温度改善	2022-3月から	
4				
5				

(2) エネルギー起源CO_2以外の温室効果ガス排出量の削減に向けた取組の内容等

	温室効果ガスの種類	実施計画		実績報告
		取組の内容	実施スケジュール	取組の実施状況
1				
2				
3				

(3) 上記の取組により達成しようとする目標および目標の進捗に対する自己評価

取組目標および目標設定の考え方	目標の進捗に対する自己評価
上記の取り組み等によりCO2排出原単位（CO2-t/製品-t）の毎年1%削減を目指します。	

(4) 温室効果ガス排出量等の実績

		計画開始年度前年度の実績	実績報告				
			（　）年度	（　）年度	（　）年度	（　）年度	（　）年度
原油換算エネルギー使用量	kL	12,157					
温室効果ガス総排出量	t-CO_2	16,066	0	0	0	0	0
エネルギー起源CO_2	t-CO_2	0					
非エネルギー起源CO_2	t-CO_2	0	0	0	0	0	0
CH_4	t-CO_2						
N_2O	t-CO_2						
HFCs	t-CO_2						
PFCs	t-CO_2						
SF_6	t-CO_2						
エネルギー等原単位の推移		0.723					

備考　「温室効果ガスの種類別の排出量内訳」欄については、事業者行動計画の提出義務の要件に該当しない温室効果ガスの排出量は、記入する必要はありません。

5　再生可能エネルギー等の利用に関する取組

（1）再生可能エネルギー等の利用に関する取組の内容等

■ 計画最終年度までの取組の内容等

	実施計画		実績報告
	取組の内容	実施スケジュール	取組の実施状況
1			
2			
3			
4			
5			

■ 中長期的な取組の内容等

	取組の内容
1	
2	
3	
4	
5	

（2）所有する主な再生可能エネルギー設備

太陽光	kW	水力･小水力	kW	地熱	kW
上記の取り組み等によりCO2排出原単位	kW	バイオマス	kW	その他（　　）	kW
再エネ設備を効率的に利用する設備の導入実績					

（3）再生可能エネルギー電気設備での発電量および自家消費量の実績

		計画開始年度前年度の実績	実績報告				
			（　）年度	（　）年度	（　）年度	（　）年度	（　）年度
再エネ電気設備での発電量	kWh						
上記のうち自家消費量	kWh						